

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0104030100020101	事務事業名	衛生施設総務管理事務事業	担当部	生活環境部		
				担当課	衛生施設課		
政策名	02	自然にやさしいまちづくり		グループ	施設管理グループ		
施策名	03	循環型社会の形成		電話番号	45-5111		
基本事業名	04	廃棄物処理施設の整備・管理		内線番号	1083		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ー 不明) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	04 衛生費			根拠法令・条例等	特になし	
	項	03 清掃費					
	目	01 清掃総務費					
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

火葬業務、ごみ処理業務、し尿処理業務の事務手続き、各施設の維持管理・運営管理を行う事業。具体的な業務は下記のとおり。
 【協議会参画事務】
 ・県下市町村のごみ処理施設担当職員の研修のために、設立された県下ごみ処理施設連絡協議会への参画事務
 ・県下市町村のし尿処理施設担当職員の研修のために、設立された県下し尿処理施設連絡協議会への参画事務
 【消耗品等購入事務・通信費支払等事務】
 ・課内の事務の執行に必要な一般消耗品の購入、追録代、コピー代、通信関係の料金支払い
 【公用車管理事務】
 ・所管する公用車の管理

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 県下ごみ処理施設連絡協議会及び県下し尿処理施設連絡協議会への参加回数	回	1	1	1	1	1
イ 消耗品等購入件数	件	10	9	19	15	15
ウ 公用車の燃料購入量	L	963	1,344	1,087	1,000	1,000

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 課内の各種業務							
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 円滑に実施される							
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 一般廃棄物処理施設が適切に維持・管理される							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

○霧島市経営健全化推進計画(第2次/改訂版)(平成26年12月策定)において、持続可能な健全財政を確立するため歳出削減に関する取組を全庁的に推進する必要があるとされ、その中で、需用費や役務費については常にコストを意識し、不要不急な物品の購入や電気・電話・水道の浪費等を厳に慎むことで節減に努め、また、ランニングコスト削減に資する機器の導入等を検討し、維持管理費の縮減に努めることとされている。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円			0	0	0
		県支出金	千円			0	0	0
		地方債	千円			0	0	0
		その他	千円			0	0	0
		一般財源	千円			656	968	968
		事業費	千円	0	0	656	968	968
投入量								

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【協議会参画事務】 ・県下し尿処理施設連絡協議会負担金と旅費 7,200円 【消耗品等購入事務・通信費支払等事務】 ・19件 消耗品費 169,486円 ・JA夜間金庫使用料 手数料 24,000円 ・10件 FAX回線使用料 通信運搬費 29,853円 ・10件 プロバイダー 利用料 通信運搬費 14,040円 ・12件 電話代 通信運搬費 120,826円 【公用車管理事務】 ・3件 修繕料 32,140円 ・24件 燃料費 162,143円 ・1件 保険料 39,675円</p>	<p>【協議会参画事務】 ・県下し尿処理施設連絡協議会への参画によりし尿処理施設に対する見識が深められた。 【消耗品等購入事務・通信費支払等事務】 ・消耗品等購入・通信費の支払いにより、課の事務が円滑に行われた。 【公用車管理事務】 ・公用車管理事務により、事故もなく公用車の管理が円滑にできた。</p>

事務事業コード	0104030100020101	事務事業名	衛生施設総務管理事務事業	担当部	生活環境部
				担当課	衛生施設課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
	<input type="checkbox"/> 結びついていない		
B 有効性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない		
C 効率性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる		
D 公平性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	必要最小限の事業費で行っているため、これ以上の削減は難しい。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	必要最小限の人員で行っているため、これ以上の削減は難しい。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)								
【参考】前年度の改革改善の方向性 <>								
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○	○					
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	これまで以上に、課の業務が円滑に行われるよう、消耗品の購入業務、公用車の管理業務を行うとともに、協議会への参加により情報収集を行う。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	平成28年度は、県下ごみ処理施設連絡協議会及び県下し尿処理施設連絡協議会に参加し、情報収集や共通する課題の検討を行う。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

事務事業 コード	0104030100020101	事務 事業名	衛生施設総務管理事務事業	担当部	生活環境部
				担当課	衛生施設課

9. コストの推移

(単位:千円)		平成26年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度 (計画)
1	報 酬			
2	給 料			
3	職 員 手 当 等			
4	共 済 費			
5	災 害 補 償 費			
7	賃 金			
8	報 償 費			
9	旅 費	11	50	50
10	交 際 費			
11	需 用 費	390	531	531
	消耗品費	185	190	190
	燃 料 費	173	151	151
	食 糧 費			
	印刷製本費			
	光 熱 水 費			
	修 繕 料	32	190	190
	賄 材 料 費			
	飼 料 費			
	医 薬 材 料 費			
12	役 務 費	245	328	328
	通信運搬費	181	183	183
	広 告 料			
	手 数 料	24	24	24
	保 険 料	40	121	121
13	委 託 料			
14	使用料及び賃借料			
15	工 事 請 負 費			
16	原 材 料 費			
17	公有財産購入費			
18	備 品 購 入 費			
19	負担金補助及び交付金	10	10	10
20	扶 助 費			
21	貸 付 金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利息及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積 立 金			
26	寄 附 金			
27	公 課 費		49	49
28	繰 出 金			
計		656	968	968
財源内訳	特定財源			
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
一般財源	656	968	968	
計		656	968	968
補助率	国			
	県			
補助基本額				

平成26年度補正・流用状況

当初予算	753
補正予算	0
流用・充用	
予算合計	753

平成26年度特定財源内訳

区分	名称	金額
合 計		0

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	01040302030401	事務事業名	し尿処理場管理運営事業		担当部	生活環境部
					担当課	衛生施設課
政策名	02	自然にやさしいまちづくり			グループ	施設管理グループ
施策名	03	循環型社会の形成			電話番号	45-5111
基本事業名	04	廃棄物処理施設の整備・管理			内線番号	1083
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	04 衛生費				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 11 年度～)
	項	03 清掃費				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)
	目	03 し尿処理費				根拠法令・条例等
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	霧島市公共施設マネジメント計画

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【施設の概要】
 ・南部し尿処理場 所在地 霧島市隼人町522-16 供用開始 平成19年4月
 ・牧園・横川し尿処理場 所在地 霧島市牧園町宿窪田1516 供用開始 平成11年4月

【指定管理者】
 ・南部し尿処理場: JFE環境サービス(株) 期間: H25.4.1~H30.3.31
 ・牧園・横川地区し尿処理場: (株)三州衛生公社 期間: H24.7.1~H29.3.31

【施設の処理区域】
 ・南部し尿処理場: 国分、隼人、福山、霧島地区および溝辺地区の一部
 ・牧園・横川地区し尿処理場: 牧園、横川地区および溝辺地区の一部

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア し尿・浄化槽汚泥搬入量(2施設の合計)	kℓ	65,185	64,173	63,759	63,759	63,759
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア し尿・浄化槽汚泥	し尿・浄化槽汚泥搬入量(2施設の合計)	kℓ	65,185	64,173	63,759	63,759	63,759
イ し尿処理場	施設数	箇所	2	2	2	2	2
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 適正に処理される	し尿・浄化槽汚泥処理量(2施設の合計)	kℓ	65,185	64,173	63,759	63,759	63,759
イ 適切に管理・運営される	水質汚濁の指標として最も一般的なBODが基準値の20mg/Lを上回った箇所	箇所	0	0	0	0	0
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 一般廃棄物処理施設が適切に維持・管理される。	一般廃棄物処理施設の環境基準遵守率	%	100	100	100	100	100
イ 一般廃棄物処理施設が適切に維持・管理される。	1t当たりの一般廃棄物処理コスト	千円/t	17.0	16.8	未公表	18.4	18.2
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

南部し尿処理場は平成19年4月から、牧園・横川地区し尿処理場は平成11年4月から稼働している。
 運転管理面では、濃縮車の導入が進み、搬入量が減少する反面、濃度が濃くなる傾向にあり、注意する必要がある。
 また、南部し尿処理場は平成25年4月から、牧園・横川地区し尿処理場は平成24年7月から、指定管理者による運転管理を行っている。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	11,500	11,326	11,237	11,288	11,288
	一般財源	千円	209,218	228,430	228,325	235,156	235,156
	事業費	千円	220,718	239,756	239,562	246,444	246,444
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【指定管理料実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南部し尿処理場 134,390千円 ・牧園・横川し尿処理場 50,325千円 <p>【市の活動実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○南部し尿処理場 <ul style="list-style-type: none"> ・維持補修 修繕料 49,399,200円 ○牧園・横川し尿処理場 <ul style="list-style-type: none"> ・維持補修 修繕料 54,597,240円 	<p>牧園・横川地区し尿処理場、南部し尿処理場ともに指定管理者による管理運営を行っており、排水対策に万全を期し、搬入されるし尿および浄化槽汚泥を適切に処理した。</p> <p>また、周辺環境や地域住民の生活環境に配慮するため、臭気対策や構内の剪定・草払いなど環境美化にも努めた結果、地域住民からの苦情もなく、周辺地域の良好な生活環境が保たれた。</p>

事務事業コード	0104030302030401	事務事業名	し尿処理場管理運営事業	担当部	生活環境部
				担当課	衛生施設課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	し尿処理施設を適切に維持・管理する事業であるため、基本事業の意図に結びつく。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の2で、区域内における一般廃棄物を適正に処分することは市町村の責務とされているため妥当である。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	搬入されたし尿・浄化槽汚泥は環境基準を遵守しながら適切に処理されており、これ以上の向上余地はない。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	廃止した場合、し尿・浄化槽汚泥が処理できなくなり、市民生活に多大な影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	計画的な部品の交換等や経年劣化による機器の不具合箇所の修理を行う必要があるため修繕費等の増加が懸念される。また、指定管理料については、価格点を含めた総合的な基準で選定を行っているため、一定の削減は図られている。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	指定管理者の選定手続き、打合せ、モニタリングなどの業務を行っているが、指定管理者の適正な施設管理を確保するために、最低限必要な業務であり、削減は難しい。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	・下水道が整備されていない地域の市民で利用者の限定は行っていないため、受益者は偏っていない。 ・投入手数料は、施設の整備費や維持管理費を考慮したものとされており、受益者負担の公平性は確保されている。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○	○					
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・南部し尿処理場、牧園・横川し尿処理場とも指定管理者と連携を密にして、報告書等の情報から、企業努力により経費削減ができるところがないか協議を行う。 ・計画的に施設・設備の補修を行い、安定的な処理能力の確保に取り組むとともに、環境基準を遵守した適切な施設の管理・運営に努める。 							
(3)平成28年度の方角性・取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・南部し尿処理場、牧園・横川し尿処理場とも指定管理者と連携を密にして、報告書等の情報から、企業努力により経費削減ができるところがないか協議を行う。 ・引き続き計画的に施設・設備の補修を行い、安定的な処理能力の確保に取り組むとともに、環境基準を遵守した適切な施設の管理・運営に努める。 							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報					
事務事業コード	0104030202030402	事務事業名	ごみ処理場管理運営事業	担当部	生活環境部
政策名	02 自然にやさしいまちづくり	担当課	衛生施設課	グループ	施設管理グループ
施策名	03 循環型社会の形成	電話番号	45-5111	内線番号	1083
基本事業名	04 廃棄物処理施設の整備・管理	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 15 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
予算科目目	会計 一般会計 款 04 衛生費 項 03 清掃費 目 02 塵芥処理費	根拠法令・条例等	霧島市敷根清掃センターの設置及び管理に関する条例ほか		
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市環境基本計画、霧島市一般廃棄物処理基本計画

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市民から出される可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみを処理、処分するためにごみ処理場(敷根清掃センター)の管理運営を行う。牧園・横川地区については、伊佐北始良環境管理組合が管理運営している未来館で処理している。

- ・管理運営業務・・・機器類の定期的なメンテナンス、排ガス・ダイオキシン等の環境測定、計量事務、ごみの搬入指導
- ・リサイクルプラザ運営業務・・・鉄・アルミ類を分別・回収する
- ・休日：日曜日、年末年始(12月30日～1月3日)
- ・搬入時間：平日及び祝日は午前8時30分から正午まで及び午後1時から午後4時まで、土曜日は午前8時30分から正午まで
- ・ごみ処理手数料：10kgにつき80円(市民自ら清掃センターに搬入する場合は30kg以下は徴収しない。)
- ・搬入量と処理量は年度末に搬入されたごみを4月以降に処理するので、違いがある。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア ごみの搬入量	t	36,837	37,853	37,466	36,500	36,500
イ 飛灰の搬出量(H26年度からは飛灰固化物を含む)	t	1,680	1,687	1,617	1,617	1,617
ウ 処理人口(牧園・横川地区を除く)(H26.10.1現在の住民基本台帳より)	人	115,160	115,689	115,541	117,899	118,190

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 家庭系ごみ、事業系ごみ	搬入量	t	36,837	37,853	37,466	36,500	36,500
イ 敷根清掃センター	処理能力	t/日	185	185	185	185	185
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 適正に処理される	処理量	t	36,820	36,664	38,282	36,500	36,500
イ 適切に管理・運営される	排ガス測定検査でダイオキシンの基準値0.05ng-TEQ/gを超えた回数	回	0	0	0	0	0
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 一般廃棄物処理施設が適切に維持・管理される。	一般廃棄物処理施設の環境基準遵守率	%	100	100	100	100	100
イ 一般廃棄物処理施設が適切に維持・管理される。	1t当たりの一般廃棄物処理コスト	千円/t	17.0	16.8	未公表	18.4	18.2
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成15年4月の敷根清掃センター稼働に伴い管理運営事業が開始された。その後、合併に伴い溝辺地区のごみも処理するようになった。議員等からメンテナンス費用が高いのではないかという意見がある。

4. 事業費の推移

事業費	単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
国庫支出金	千円	1,680	1,400	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	134,489	152,534	139,787	151,449	151,449
一般財源	千円	822,828	823,837	776,478	807,457	807,457
事業費	千円	958,997	977,771	916,265	958,906	958,906

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

【搬入実績】

- ・可燃ごみ 35,257 t
- ・不燃・粗大ごみ 2,209 t
- ・合計 37,466 t

【市の活動実績】

- ・燃料費・・・・87,782,148円：ごみ焼却施設の灯油代等
- ・光熱水費・・・・106,690,055円：ごみ焼却施設の電気料金等
- ・修繕料・・・・417,657,370円：ごみ焼却施設の定期補修等
- ・委託料・・・・231,241,532円：ごみ焼却施設の運転管理委託等

(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

搬入された可燃・不燃・粗大ごみを環境基準を遵守しながら適切に処理することができた。

処理過程で分別した鉄・アルミ等の有価物は、業者に売却し、資源の再利用と経費節減を図ることができた。

処理過程で発生した飛灰については、一般廃棄物管理型最終処分場に搬入したほか、山元還元施設へも搬出しリサイクルすることで、資源の有効活用が図られた。

事務事業 コード	0104030202030402	事務 事業名	ごみ処理場管理運営事業	担 当 部	生活環境部
				担 当 課	衛生施設課

6. 振り返り <SEE>		理 由	
A 目的 妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ ■ 結びついている □ 間接的に結びついている □ 結びついていない	ごみ処理施設を適切に維持・管理する事業であるため、基本事業の意図に結びつく。	
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ ■ 妥当である □ 見直す必要がある	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の2で、区域内における一般廃棄物を適正に処分することは市町村の責務とされているため妥当である。	
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ □ 向上する余地はかなりある □ 向上する余地はある程度ある ■ 向上する余地はほとんどない	家庭系ごみ、事業系ごみについては適正に処理されており、また、敷根清掃センターの排ガスも基準値以下で、適切に管理・運営されている。	
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ ■ 影響がある □ 影響がほとんどない	廃止・休止すると、適切なごみ処理ができなくなることによって、市民の生活環境への悪化につながる。	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) □ 類似の事業はない ■ 類似の事業はあるが、統合又は連携できない □ 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等	伊佐北始良環境管理組合参画事業
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ □ 削減できない ■ 削減できる	長寿命化計画に基づき、焼却炉など基幹的設備改良を実施することにより、老朽化による設備のメンテナンスや、それに伴う維持管理経費の増大を抑制し、効率的な管理運営が図れるため、コスト削減が期待される。	
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ □ 削減できない ■ 削減できる	清掃センターの管理運営を包括管理業務委託等の方式をとることで、削減が期待できる。	
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ ■ 公平・公正である □ 見直す必要がある	・区域内の市民は誰でも利用できるため、受益者は偏っていない。 ・投入手数料は、施設の整備費や維持管理費を考慮したものとなっており、受益者負担の公平性は確保されている。	

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性<		継続・コスト縮小		>		
(1) 事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○			○				
(2) 平成27年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	・計画的に施設・設備の補修を行い、安定的なごみ処理能力の確保に取り組むとともに、環境基準を遵守した適切な施設の管理・運営に努める。 ・長寿命化計画に基づく焼却炉など基幹的設備改良や清掃センターの管理運営を委託する包括管理業務委託等の方式についての検討・準備等を行い、効率的な設備の更新や保全管理に努める。							
(3) 平成28年度の方向性・取組目標	・引き続き計画的に施設・設備の補修を行い、安定的なごみ処理能力の確保に取り組むとともに、環境基準を遵守した適切な施設の管理・運営に努める。 ・長寿命化計画に基づく焼却炉など基幹的設備改良や清掃センターの管理運営を委託する包括管理業務委託等の方式について、前年度の検討結果に基づき計画的な実施に努める。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		継続		やり方改善		コスト拡充		コスト縮小		連携		統合		休止		廃止	
(1) 事務事業の改革改善方向性																	
(2) 総 評																	

事務事業コード	0104030202030402	事務事業名	ごみ処理場管理運営事業	担当部	生活環境部
				担当課	衛生施設課

9. コストの推移

(単位:千円)		平成26年度(決算)	平成27年度(当初予算)	平成28年度(計画)
1	報酬			
2	給料			
3	職員手当等			
4	共済費			
5	災害補償費			
7	賃金	13,799	14,610	14,610
8	報償費			
9	旅費	489	148	148
10	交際費			
11	需用費	663,120	713,311	713,311
	消耗品費	55,983	66,936	66,936
	燃料費	87,782	100,895	100,895
	食糧費	8	10	10
	印刷製本費			
	光熱水費	106,690	106,070	106,070
	修繕料	412,657	439,400	439,400
	賄材料費			
	飼料費			
	医薬材料費			
12	役員費	2,633	1,925	1,925
	通信運搬費	242	241	241
	広告料			
	手数料	777	24	24
	保険料	1,614	1,660	1,660
13	委託料	231,242	223,305	223,305
14	使用料及び賃借料	3,568	4,038	4,038
15	工事請負費			
16	原材料費	11	70	70
17	公有財産購入費			
18	備品購入費			
19	負担金補助及び交付金	231	257	257
20	扶助費			
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利子及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積立金			
26	寄附金			
27	公課費	1,172	1,242	1,242
28	繰出金			
	計	916,265	958,906	958,906
財源内訳	特定国庫支出金			
	特定県支出金			
	特定地方債			
	特定その他	139,787	151,449	151,449
	一般財源	776,478	807,457	807,457
	計	916,265	958,906	958,906
補助率	国			
	県			
補助基本額				

平成26年度補正・流用状況

当初予算	928,691
補正予算	-4,000
補正第7号	-4,000
流用・充用	-185
予算合計	924,506

平成26年度特定財源内訳

区分	名称	金額
その他	投入手数料	107,766
その他	雑入(電気使用料)	151
その他	雑入(地金等売却益)	31,578
その他	建物貸付料	292
合計		139,787

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報								
事務事業コード	01104030202030403	事務事業名	安定型最終処分場管理運営事業			担当部	生活環境部	
						担当課	衛生施設課	
政策名	02	自然にやさしいまちづくり			グループ	施設管理グループ		
施策名	03	循環型社会の形成			電話番号	45-5111		
基本事業名	04	廃棄物処理施設の整備・管理			内線番号	1083		
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ー 不明) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	04 衛生費				根拠法令・条例等	霧島市一般廃棄物最終処分場の設置及び管理に関する条例	
	項	03 清掃費						
	目	02 塵芥処理費						
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

陶磁器製品等の安定品目 (長期間経てもその性状が変化しない物で、かつ、地下水及び河川等を汚染しない物) を処分するために、市内に7か所ある最終処分場 (1か所は閉鎖中) を適切に維持管理する。
 ・国分芦谷不燃物処分場：開場日・・・毎月第2日曜日
 ・霧島永水不燃物処分場：閉鎖中
 ・横川城山不燃物処分場：開場日・・・毎月第3日曜日
 ・隼人糸走不燃物処分場：開場日・・・毎月第4日曜日
 ・牧園城山不燃物処分場：開場日・・・毎月第4日曜日
 ・福山宝瀬不燃物処分場：開場日・・・毎月第3日曜日
 ・溝辺瀬間利最終処分場：開場日・・・毎月第2日曜日
 (開場時間は各処分場とも午前9時から午後4時まで)

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 搬入数	台	547	518	494	500	500
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 安定品目の不燃ごみ	搬入数	台	547	518	494	500	500
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 適正に処理される	水質汚濁の指標として最も一般的なBODが基準値の20mg/Lを上回った箇所	か所	0	0	0	0	0
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 一般廃棄物処理施設が適切に維持・管理される	一般廃棄物処理施設の環境基準遵守率	%	100	100	100	100	100
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

場所によっては、処分場の許容量を考えると、整地等しないと将来搬入できなくなる処分場がある。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円			0	0	0
		県支出金	千円			0	0	0
		地方債	千円			0	0	0
		その他	千円			0	0	0
		一般財源	千円			1,568	1,408	1,408
		事業費	千円	0	0	1,568	1,408	1,408
投入量								

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績 (取組) による成果を記載>
【搬入実績】 ・494 台 【主な実施業務】 ・施設修繕 (国分芦谷防護柵修繕) 1箇所 ・整地業務 (溝辺瀬間利) 1箇所 ・草刈り業務 (国分芦谷・福山宝瀬) 2箇所 ・処分場開場業務 6箇所 ・水質検査の実施 7箇所	各最終処分場周辺の水質検査は異常がなく、また、有害物質の搬入等もなかった。 国分芦谷の防護柵修繕や溝辺瀬間利の整地を行うなど、事故もなく適正に管理運営された。

事務事業コード	0104030202030403	事務事業名	安定型最終処分場管理運営事業	担当部	生活環境部
				担当課	衛生施設課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	陶磁器製品等の安定品目を市内で適正に処分するための施設を維持・管理する事業であるため、基本事業の意図に結びつく。	
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の2で、区域内における一般廃棄物を適正に処分することは市町村の責務とされているため妥当である。	
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	安定型最終処分場は周辺の生活環境、自然環境に影響を与えることなく適正に維持・管理されているため、これ以上の向上余地はない。	
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	安定品目の不燃ごみについては、清掃センターで処理できないものなので安定型最終処分場は必要である。	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等	
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	必要最小限の費用で行っているので削減は難しい。	
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	必要最小限の人員で行っているので削減は難しい。	
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民は、どこの最終処分場に搬入しても良いので、公平・公正である。	

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)								
【参考】前年度の改革改善の方向性 <>								
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○						
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	・今後も引き続き周辺の生活環境、自然環境に影響を与えることなく適正な維持・管理に努める。 ・各最終処分場の現状を常時把握し、施設修繕や整地・草刈等の必要な管理運営を行う。							
(3)平成28年度の方角性・取組目標	・今後も引き続き周辺の生活環境、自然環境に影響を与えることなく適正な維持・管理に努める。 ・各最終処分場の現状を常時把握し、施設修繕や整地・草刈等の必要な管理運営を行う。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	010400307020201	事務事業名	国分斎場管理運営事業	担当部	生活環境部	
				担当課	衛生施設課	
政策名	02	自然にやさしいまちづくり		グループ	施設管理グループ	
施策名	02	生活環境の向上		電話番号	45-5111	
基本事業名	01	環境衛生の向上		内線番号	1083	
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 2 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	04 衛生費		根拠法令・条例等 墓地、埋葬等に関する法律 霧島市火葬場の設置及び管理に関する条例		
	項	02 環境衛生費				
	目	03 火葬場費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市公共施設マネジメント計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【施設の概要】
 ・所在地 霧島市国分名波町16番19号 ・供用開始 平成2年5月 ・建築面積 1,408.92㎡ ・構造 鉄筋コンクリート造一部2階建
 ・平成19年度増設 ・平成25年度 建物改修(ユニバーサルデザイン化整備)
 ・開場時間 午前8時15分～午後5時 ・休場日 1月1日

【指定管理者】
 ・株式会社 フクシマ 平成22年4月1日～平成27年3月31日

【使用料金】
 ・火葬料 (市内)大人5,000円、小人3,000円、改葬1,500円 (市外)大人40,000円、小人20,000円、改葬13,000円等

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 火葬等件数	件	1,324	1,289	1,462	1,400	1,400
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 市民	人口	人	127,475	127,283	126,773	129,360	129,679
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 公衆衛生その他公共の福祉の見地から、火葬が支障なく行われる	利用者アンケート(施設運営の満足度)	%	73.0%	75.8%	76.2%	77.0%	77.5%
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 生活環境に関する問題が解決できる	生活環境が維持又は改善されていると感じる市民の割合	%	83.5%	80.2%	83.4%	85.0%	85.0%
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

○平成25年度にユニバーサルデザイン化整備事業による大規模改修を行い、施設内のバリアフリー化や使用者が雨に濡れないように停車場に屋根の設置などを行った。
 ○アンケートの自由意見(主なもの)
 ・女性スタッフの細かい心遣いが非常に良かった。
 ○事業を取り巻く環境の変化として、加速していく高齢化や大規模災害などに備え、火葬炉の増設等を検討する必要がある。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円			0	0	0
	県支出金	千円			0	0	0
	地方債	千円			0	0	0
	その他	千円			8,620	7,715	7,715
	一般財源	千円			39,039	44,094	46,094
	事業費	千円	0	0	47,659	51,809	53,809
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【指定管理料実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 44,162,000円 ・ 火葬実績・・・1,462件 <p>【市の活動実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 火葬炉設備補修 修繕料 2,808,000円 ・ 屋根防水補修 修繕料 157,000円 	<p>斎場施設は最も厳粛な人生の最終行事を取り扱う施設であり、その管理運営は公衆衛生その他公共の福祉の見地から、支障なく行われることが最大の目的である。</p> <p>その観点から、指定管理者と連携を密に取り、指定管理者による企業努力もあり、大きなトラブルもなく適正に火葬業務が行われた。</p> <p>また、老朽化した施設の修繕を行ったことで安定的な処理能力が確保され、適正な施設運営が行われた。</p>

事務事業コード	0104020307020201	事務事業名	国分斎場管理運営事業	担当部	生活環境部
				担当課	衛生施設課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民にとって火葬を公衆衛生その他公共の福祉の見地から支障なく行うことで、生活環境に関する問題解決に結びつく。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民にとって火葬を支障なく行うことは、公衆衛生その他公共の福祉の見地から最も重要な目的であることから、民間ではなく、市が行うべきである。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	斎場は、最も厳粛な人生の最終行事を取り扱う施設であるので、指定管理者の企業努力を促進することにより、利用者に対するより一層のきめ細やかな接遇が見込まれることから、利用者満足度が向上する余地はある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	火葬に支障があると、市民の生活環境及び「墓地、埋葬等に関する法律」の目的に反することになる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 伊佐北始良火葬場管理組合参画事業 霧島市の火葬場は国分斎場の他、伊佐市・湧水町・霧島市(旧横川町・旧牧園町)で構成している伊佐北始良火葬場管理組合(一部事務組合)があるが、伊佐市にあるため距離的問題等により火葬場間の連携はできても統合はできない。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	価格点を含めた総合的な基準で選定を行っているため、一定の削減は図られている。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	指定管理者の選定手続き、打合せ、モニタリングなどの業務を行っているが、指定管理者の適正な施設管理を確保するために、最低限必要な業務であり、削減は難しい。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	・利用者の限定は行っていないため、受益者は偏っていない。 ・使用料は、施設の整備費や維持管理費を考慮したものとなっており、受益者負担の公平性は確保されている。

7. 1次評価結果 <PLAN>(組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性<>						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○	○						
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	利用者アンケート(施設運営の満足度)から、「満足」・「やや満足」が平成24年度は73%、平成25年度は75.8%、平成26年度は76.2%と毎年上がってきているので、指定管理者と連携を密にとり、指定管理者の企業努力等について協議し、より一層利用者の施設運営の満足度を上げていくことに努める。							
(3)平成28年度の方方向性・取組目標	・斎場は、最も厳粛な人生の最終行事を取り扱う施設であるので、指定管理者の企業努力を促進することにより、利用者に対するより一層のきめ細やかな接遇が必要とされる。 ・平成25年度にユニバーサルデザイン化整備事業による大規模改修を行ったが、供用開始が平成2年なので火葬炉のオーバーホールや建物・設備の小規模な修繕などが見込まれる。(例 自動ドア、集塵機等)							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		【参考】前年度の改革改善の方向性<>						
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

事務事業 コード 0104020307020201	事務 事業名 国分斎場管理運営事業	担当部 生活環境部
		担当課 衛生施設課

9. コストの推移

(単位:千円)		平成26年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度 (計画)
1	報酬			
2	給料			
3	職員手当等			
4	共済費			
5	災害補償費			
7	賃金			
8	報償費			
9	旅費			
10	交際費			
11	需用費	3,470	3,350	5,350
	消耗品費			
	燃料費			
	食糧費			
	印刷製本費			
	光熱水費			
	修繕料	3,470	3,350	5,350
	賄材料費			
	飼料費			
	医薬材料費			
12	役員費	27	31	31
	通信運搬費			
	広告料			
	手数料			
	保険料	27	31	31
13	委託料	44,162	48,428	48,428
14	使用料及び賃借料			
15	工事請負費			
16	原材料費			
17	公有財産購入費			
18	備品購入費			
19	負担金補助及び交付金			
20	扶助費			
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利息及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積立金			
26	寄附金			
27	公課費			
28	繰出金			
	計	47,659	51,809	53,809
財源内訳	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他の 一般財源	8,620 39,039	7,715 44,094	7,715 46,094
	計	47,659	51,809	53,809
補助率	国 県			
補助基本額				

平成26年度補正・流用状況

当初予算	46,294
補正予算	1,400
補正第7号	1,400
流用・充用	
予算合計	47,694

平成26年度特定財源内訳

区分	名称	金額
その他	火葬場使用料	8,620
合計		8,620